

周囲の緑と水辺に調和した  
アーバン空間を演出します。

会館は、隣接する中央公園の緑や潤井川、古川の水辺とよく調和するように設計されています。また、潤井川大橋からのゆるやかな歩道の傾斜に映えるよう、正面(青葉通り側)はすべて4階まで貫く列柱とします。

さらに、この列柱も含めガレリアは耐久性にすぐれ、景観の上からも好ましい御影石を考えています。

【計画の概要】 ◆建設地 富士市蓼原字中瀬 ◆敷地面積 17,772㎡ ◆延床面積 約22,700㎡ ◆構造 鉄骨鉄筋コンクリート一部鉄骨造 ◆1階…ガレリア、展示室、リハーサル室、2階…大・中・小ホール、レストラン 3階…レセプションホール 4階…会議室、和室

## 基本設計がまとまりました

多くの市民の皆さんの参加でまとめ上げた新しい文化会館のイメージ(建設構想)。このイメージをもとに進めてきた基本設計が完成し、文化会館の姿が次第に見えてきました。私たちが、市民一人ひとりがはぐくんできた大切な文化の芽が、新しい「まちの顔」文化会館の建設で、四年後には大きく花を開きます。

### まちの真ん中

#### 生き生き空間

青葉通りを西へ向って、市庁舎を過ぎ潤井川大橋を渡ると左手に三角形の広い空き地が見えます。通りを挟んで右手に市民プールの見えるこの位置に、新しい文化会館が建設されます。工事の着工は来年の六月、オープンは平成五年の一月が予定されています。

本市の交通のかなめである、新幹線新富士駅、東名富士インターそして田子の浦港からもほぼ同距離にあり、正に富士市のど真ん中、隣接する中央公園や潤井川の水辺、「ふるさとの顔づくりモデル事業」として整備の進む歩道など、市民が自然に引き寄せられるゾーンに

建設されるこの会館は、私たちの心をつっかりととらえて離さないでしょう。

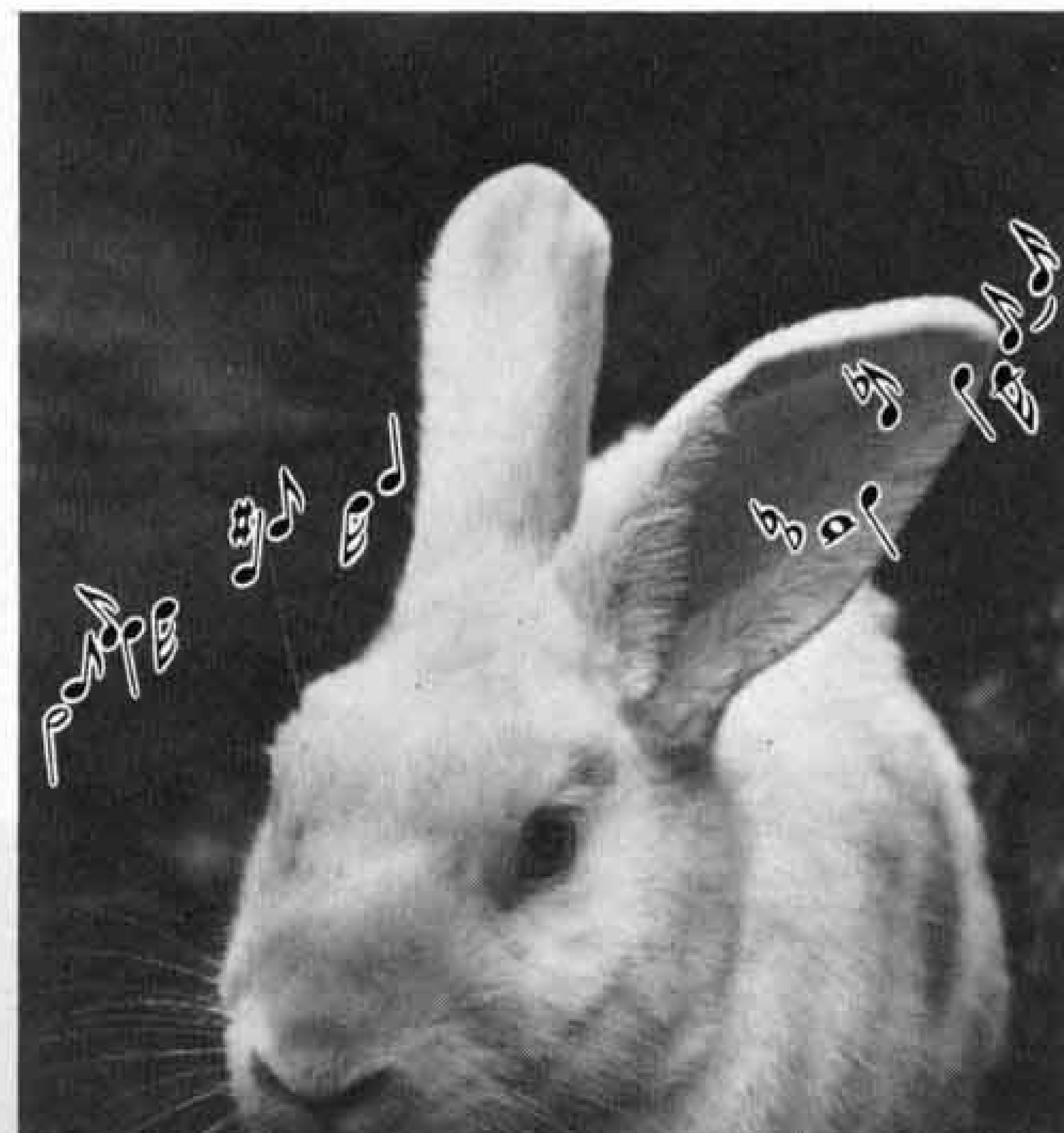
### ガレリアは

#### にぎわいのスペース

この会館の大きな特徴に共通ロビー(ガレリア)があります。青葉通りと平行して長く伸びたガレリアは富士山の眺望がすばらしく、市民はもとより市外や海外からの人には特に魅力的なゾーンとなります。このガレリアの奥に大・中・小ホール、管理棟が順序よく並び、市民が一目で判別できるように配置されています。ガレリアには、カフェテリア、談話コーナー、AV情報コーナー等を設け、

＝ 感じます鼓動を

# テージ新文化会館





人と人、人と文化の交流をはかります。

ガレリア(共通ロビー)は連続した吹抜けで、青葉通りの傾斜と会館自体の緩やかな曲線によって、しゃれたにぎわいのある空間が誕生します。いつでも気軽に立ち寄り、開かれた人と人のふれあい、人と文化のふれあいの場となります。

市民がいつでも気軽に利用できる開かれたスペースとします。華やかで、落ち着いた雰囲気の中で、待ち合わせやちょっとした打ち合わせに御利用ください。また、中央公園で遊んだ後、レストランでの食事も楽しいものです。

## 部屋の二つ二つに 顔があります

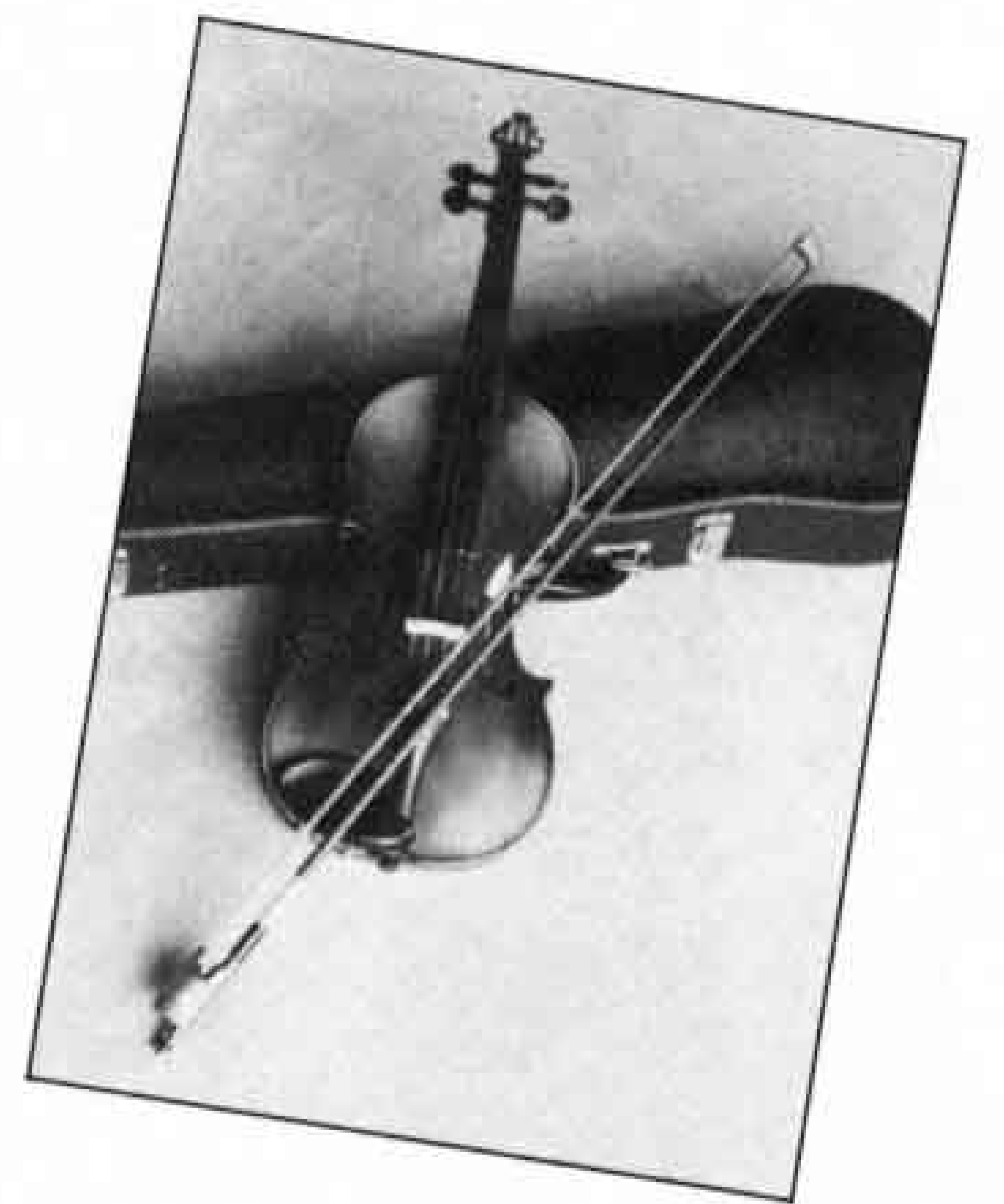
文化会館は、あらゆる文化活動の鑑賞と発表の場を用意します。大ホールでは、音楽を主体にしたクラシックのコンサートやバレエを、中ホールでは演劇を主体に、イベントやショーに、また、ピアノやコーラスの発表会・小演劇には、小ホールが最適です。

展示室は、従来の会議室と異なり展示専門の部屋として六百平方メートルを確保しました。また内部は、天井走行式展示パネルによって自由に仕切れますので小さな展示会でも利用できます。

四階には、会議室に接して和室を設け、日本庭園越しに富士山の眺望が楽しめます。三階のレセプションホールは、ディナーショーやパーティーに利用できる格調の高い部屋となります。

## あなたのステージ を用意します

市民みずから企画し参加する文化活動は、今後ますますふえる傾向にあると言えます。新文化会館はこのようにはっきりとした目



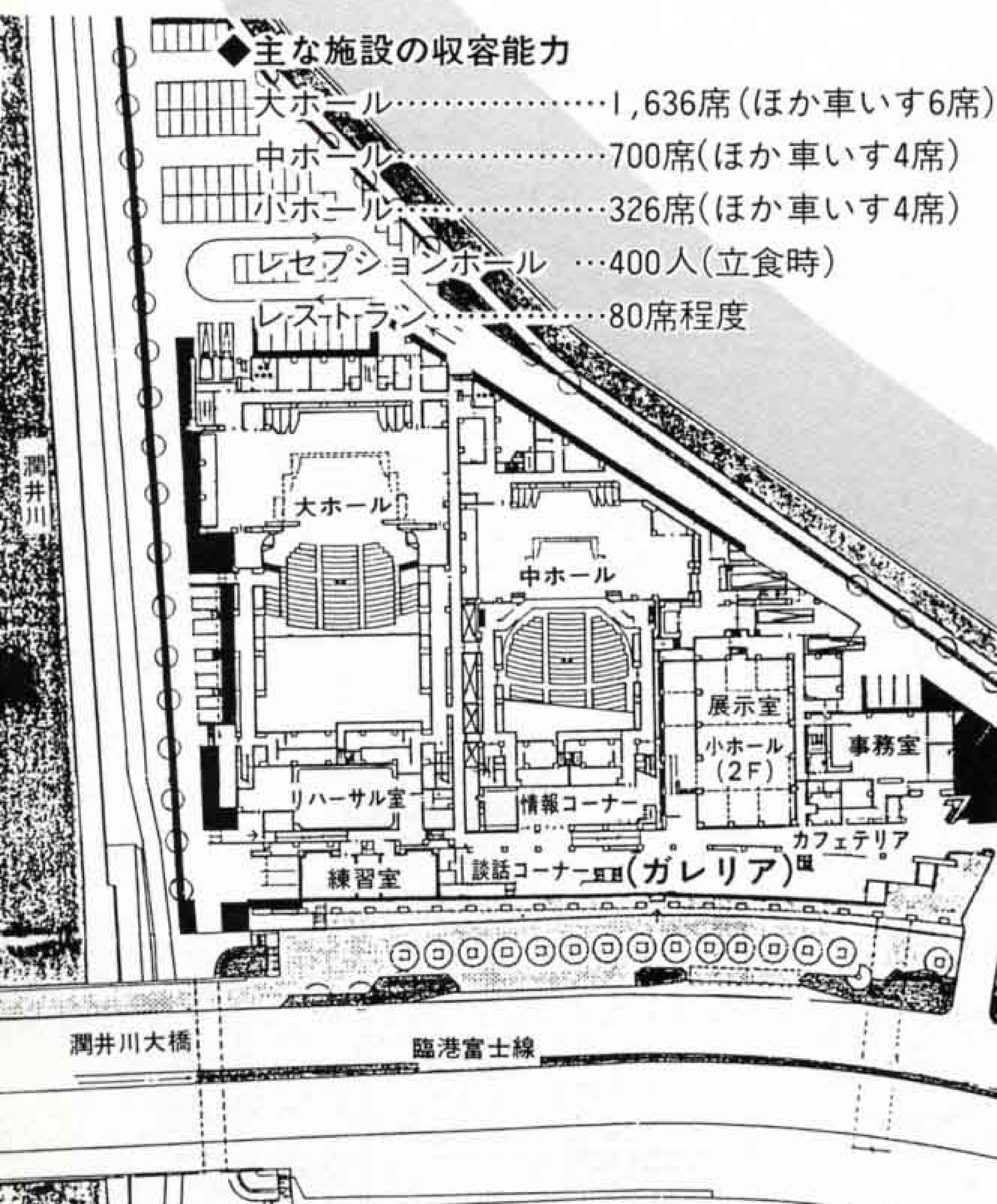
的意識を持った個人、グループ相互の交流の場を設けています。

お互いの交流から、理解を深め、また新しい文化をつくってゆく。こうした活動が人と人との輪を広げ、知的意識を身につけた連帯感のある富士市民を形づくってゆきます。

私たちの夢が実現します。四年後にはあなたのステージが用意されているのです。

＝聞こえます歌声が

# あなたのス



聞こえます歌声が感じます鼓動を

# 新文化会館



## よりよい音の

## 響きを求めて

一般的に、ホールの評価は音響のよしあしで決まると言われています。

本市では、基本計画の段階から音響コンサルタントをお

願いし、提言を設計に生かしてきました。その成果について、先日、市内の音楽家の皆さんとの懇談会が開かれたので紹介します。

### シューボックス型が音響に最適

「私たち音楽家にとって、ホールの音響は最大の関心事ですが、新文化会館の音響対策にはどのような工夫がされていますか。コンサルタント・ホールの音響の

よしあしは、基本的にはホールの形で決まります。最適な形はシューボックス型(靴箱型)で、経験的にも科学的にも証明されています。本市の大・小ホールについても、この型で設計をしてありますのでその点は心配ありません。

### 多目的ホールに欠かせない音響反射板

「新しいホールは多目的ホールと聞いていますが…」

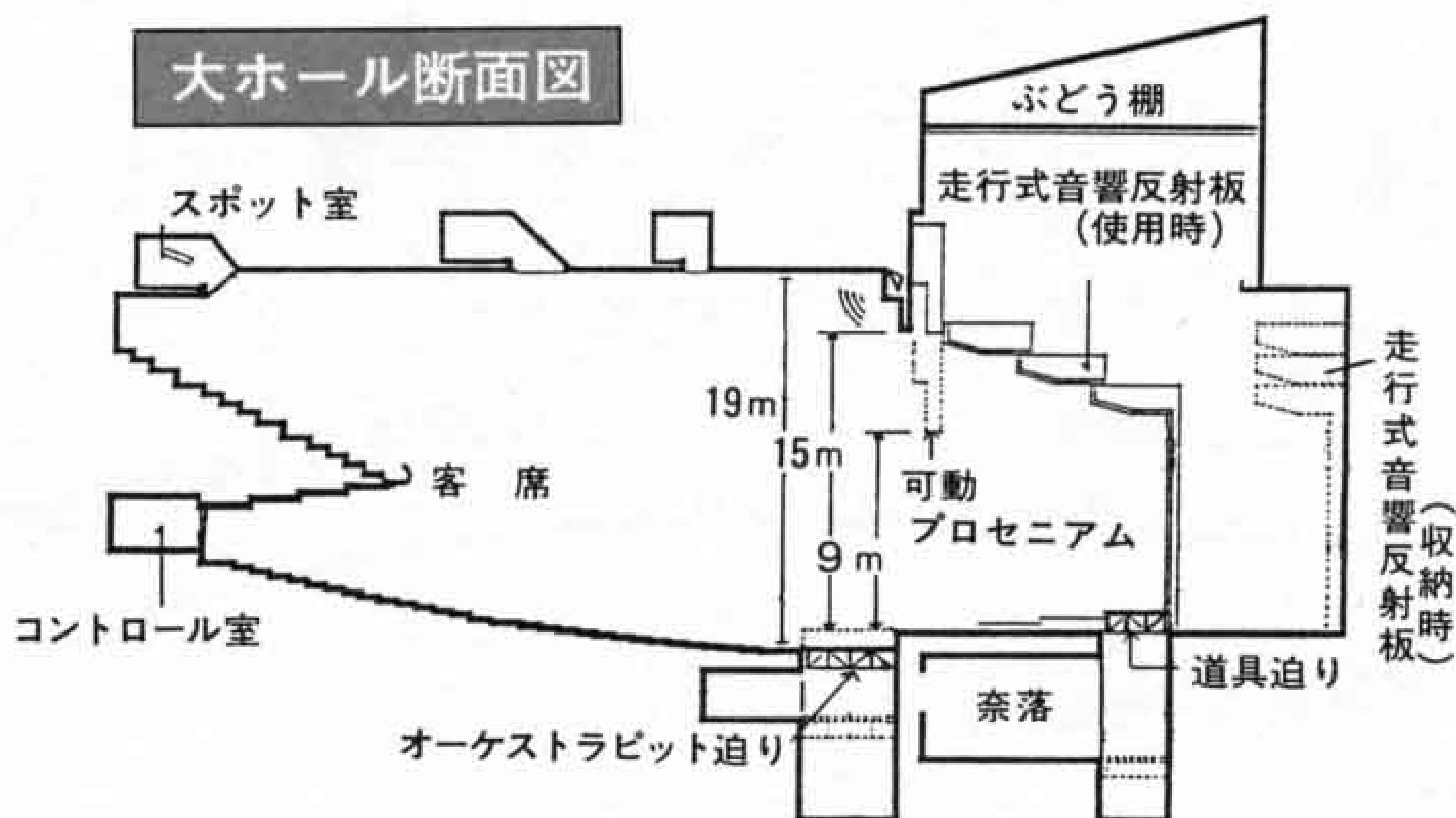
「新しいホールは多目的ホールと聞いていますが…」

「新しいホールは多目的ホールと聞いていますが…」

### 走行式

### 音響反射板の秘密

「新しいホールは多目的ホールと聞いていますが…」



「新しいホールは多目的ホールと聞いていますが…」

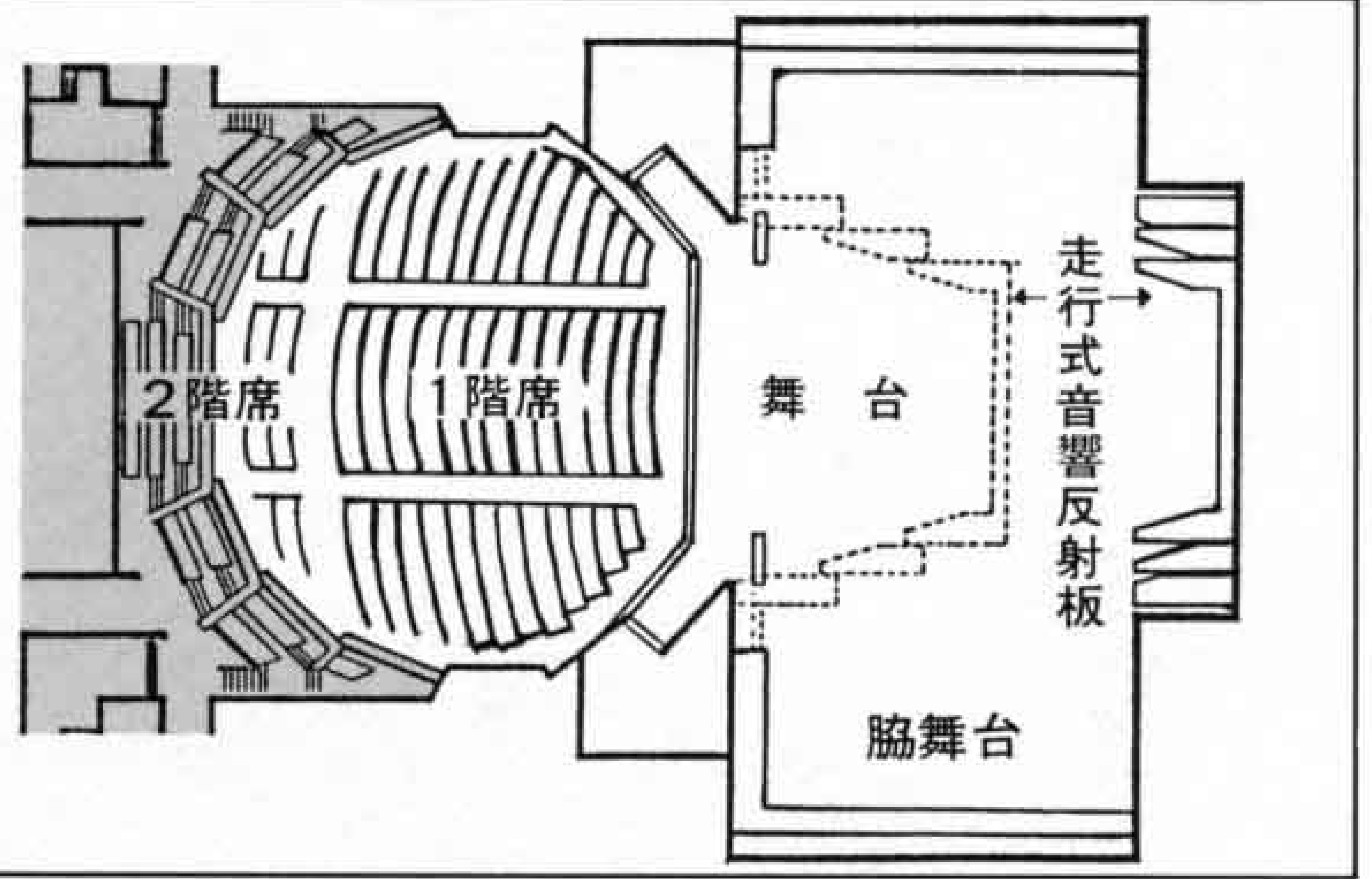


豊田泰久氏

豊田氏は福島市音楽堂やサントリ  
ーホールなどの音響を手がけ、現在  
は本市と米国ウォルトディズニーコ  
ンサートホールを担当しています。

### 中ホール

演劇が主体のホール  
ですから、舞台と客席  
との一体感を出す必要  
があります。そこで、  
二階席には舞台を囲む  
ようなバルコニー席を  
設けることにしました。



### 各ホールは

#### 独立した建物

—そのほか、よい音づくりのため  
にどんな工夫がされていますか。  
コンサート・これは地震対策  
でもあるのですが、エキスパンシ  
ョン・ジョイントと言って、各ホ  
ールは独立した建物となります。  
こうすることにより、隣のホール  
からの音の振動をシャットアウト  
するのです。遮音の徹底のため奈  
落（地下室）も独立させます。

### 中ホールの音響にも

#### 注目しています

—私たち、市内の音楽家が一番利  
用するホールは、規模からいつて  
も中ホールが多くなると思います  
ですから、中ホールの音響が一番  
気になります。私はチェロ奏者な  
のですが弦の響きはどうですか。  
—ピアノの音はいかがですか。  
—私は声楽家ですが、ホールによ



つては歌っている時、舞台で聞こ  
える音と客席で聞く音とに差が生  
じます。そうしたことはありませ  
んか。

コンサート・中ホールは基本  
的に演劇を主体としたホールです  
から、言葉がはっきりと聞こえる  
よう設計されています。つまり響  
きは短くなります。しかし、この  
ホールにも走行式音響反射板を設  
けてありますので、これを使えば  
音色のいい音は確保できます。結  
論的には、弦には少し短くピアノ  
には適した響きとなります。また、  
舞台と客席との響きの差は、従  
来の多目的ホールの場合時々起こ  
る現象ですが、これも走行式音響  
反射板でほぼ解決できます。

### 音は時間をかけて 育てていくもの

コンサート・小ホールについ  
ては、自主文化活動を主体とした  
ホールですが、小規模ながら天井  
も高くし音響にも十分配慮しまし  
た。全国でもトップクラスの音だ  
と思います。  
—お話しから感じたことは、大・  
中・小それぞれのホールがはつき  
りとした主張を持っていること、  
そして私たちを含め市民にとって  
大変利用しやすいだろうというこ  
とです。建設の基本計画の段階か  
ら音響の専門家に依頼した市の姿  
勢は評価できると思います。  
コンサート・私たちも当初か  
らホールの形と大きさを指定でき

### (指揮者)小林研一郎氏

1974年ブタペスト国際コンク  
ール第一位。現在主にヨーロッ  
パで活躍。アムステルダムフィ  
ル首席指揮者、ほか都響および  
東響などの正指揮者を歴任。



## 世界に向けた富士市の顔に

私は指揮者ですから、文化会館  
イコール音楽専門ホールというこ  
とになります。ヨーロッパではこ  
うしたホールを持つことが市民の  
誇りです。いわばその都市の「顔」  
となるのです。  
富士市も音響には気を使ってい  
らっしゃるようですね。ホールはで  
きるだけ豪華に仕上げ、お客さん  
をリッチな気分にしてあげてくだ  
さい。日本だけでなく欧米の楽団  
も演奏したくなるようなホールに  
なるといいですね。時間をたっぷ  
りかけて、すばらしい会館を建て  
てください。私も楽しみにしてい

▽小林先生と地元の音楽家との懇談会



ます。  
（十月三日、富士文化  
センターホールにて）

### 懇談会に出席した皆さん

- |       |         |
|-------|---------|
| 辻村 典枝 | (声 楽)   |
| 萩原 明美 | ( // )  |
| 青木 裕子 | (ピ ア ノ) |
| 加藤美智子 | ( // )  |
| 中村 史子 | ( // )  |
| 佐野 穰一 | (チ ェ ロ) |
| 茅原 初子 | (フルート)  |
| 池田 信一 | (画 家)   |
| 辻村 晴男 | (ピアノ調律) |

たことが、いい音づくりにつなが  
ったと思っています。  
ここで一言申し上げたいのは、  
音はホールを使い込むほどよくな  
ってゆくという事実です。市民が  
よくホールに親しみ、理解し使い  
こなすことで音は育ってゆきます。  
—お話を伺い、私たち市民によつ  
て文化会館が成長することを痛感  
しました。本日はありがとうございます。